第25週

中部保健所管内　感染症発生動向調査情報

2026/6/15 ～ 2026/6/21

発令中の警報／注意報			
県全体	〈警報〉 なし	〈注意報〉 なし	
	警　報	中部保健所	なし
		八重山保健所	流行性角結膜炎、手足口病
		南部保健所	流行性角結膜炎、水痘
	注意報	中部保健所	なし

エボラ出血熱の最新情報と国内の備え

2026年5月17日、世界保健機関（WHO）はコンゴ民主共和国とウガンダでのエボラ出血熱の流行を受け、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言しました。これを受け、日本政府も対策会議を開き、情報収集と国内対策の確認を進めています。今回は、エボラ出血熱の最新動向と私たちが知っておくべき基礎知識を解説します

1. PHEIC（国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態）とは

世界的に広がるリスクがあり、国を超えた協力が必要な感染症の流行に対してWHOが発表する警戒宣言です。今回はコンゴ民主共和国や隣国のウガンダでエボラ出血熱が拡大しているため宣言されました。エボラ出血熱での宣言は過去に続き、今回で3回目となります。

2. どうやって感染する？（感染経路）

・**接触感染が中心:**感染した人や動物（オオコウモリなど）の血液・体液・排泄物、またはそれらに汚染された物に、傷口や粘膜が直接触れることで感染します。
・**空気感染はしない:**麻しんのように空気や飛沫（しぶき）で広がることはありません。
・動物からも:感染した動物の死体や生肉に触れたり、生で食べたりすることでも感染リスクがあります。

3. 主な症状と致死率

感染してからの症状が出るまでの期間は2～21日（通常は4～10日）です。
・初期症状: 突然の発熱、頭痛、筋肉痛などの症状が出ます。
・進行すると:嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状が起き、重症化すると全身からの出血傾向や意識障害を起こし、死に至るケースもあります。過去のデータでは、致死率は25～90%と非常に高いのが特徴です。

4. 日本国内でのリスクは？

厚生労働省などの専門機関は、「現時点で日本国内で感染が広がる可能性は低い」と評価しています。理由としては現在流行しているのは現地の首都からでも遠く離れた地域であり、日本との直接往来は限定的なため日本国内の一般の人が感染する可能性はほとんどないと評価されています。また、政府は流行地域から来た入国者への健康チェックなど、空港での検疫（水際対策）を強化しています。

5. まとめ

エボラ出血熱は恐ろしい病気ですが、感染経路が限られている（主に接触感染）ため、現時点では日本国内で爆発的に広がる可能性は低いと考えられています。過度に心配する必要はありませんが、海外の感染症を「他人事」とせず、冷静に正しい情報を知っておくことが大切です。

■　感染症の発生動向　１類～５類（全数把握）

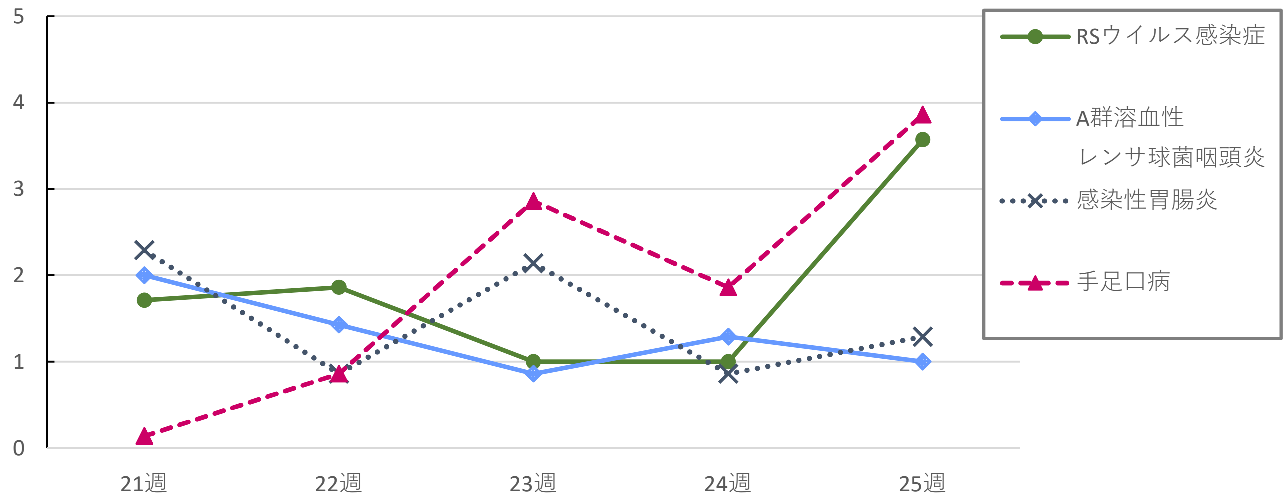
		県全体	うち中部
１類	なし	0	0
２類	結核	4	1
３類	細菌性赤痢	1	0
	腸管出血性大腸菌	1	0
４類	なし	0	0
５類	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	1	0

■　感染症の定点当たり報告数　※直近５週間で報告された感染症のみ

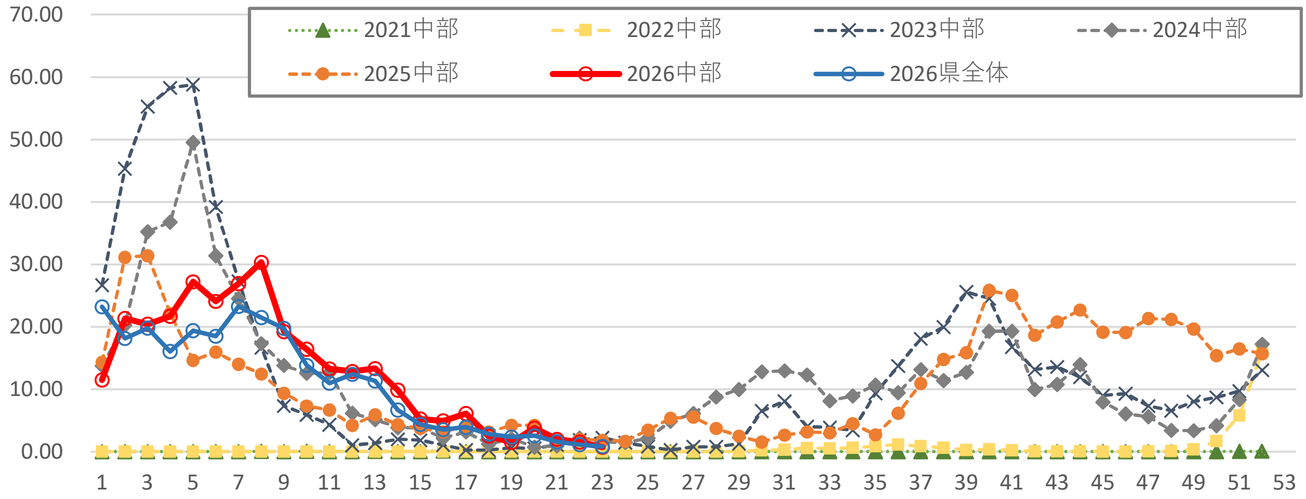
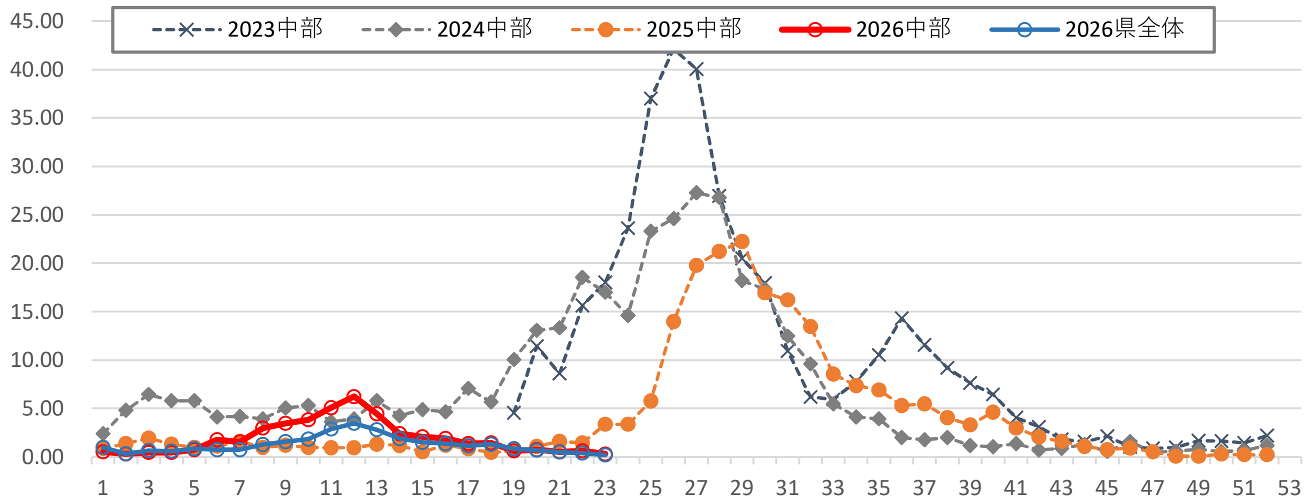
	21週		22週		23週		24週		25週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	2	1.57	1.54	1.11	0.69	0.8	1.23	0.77	0.62	0.43
RSウイルス感染症	1.71	1.46	1.86	1.5	1	1.58	1	1.33	3.57	3.67
咽頭結膜熱	1.43	0.46	1.29	0.54	1	0.46	1.86	0.75	1	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1.38	1.43	0.96	0.86	0.67	1.29	0.88	1	0.63
感染性胃腸炎	2.29	3.33	0.86	2.63	2.14	4.25	0.86	3.38	1.29	4.17
水痘	0.29	0.38	0.43	0.46	0.29	0.38	0.14	0.13	0.29	0.67
手足口病	0.14	0.63	0.86	1.29	2.86	1.83	1.86	2.21	3.86	2.88
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0.08
突発性発疹	0.29	0.25	1	0.58	0.86	0.38	0.29	0.21	1	0.42
ヘルパンギーナ	0.71	0.79	0.14	0.42	0.29	0.42	0.71	1	1	1.5
流行性耳下腺炎	0	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0.11	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.5	2.11	1	2.89	0	3.67	0	3.44	0	3.44
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0.29	0	0.14	0	0	0	0	0.5	0.29
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0.5	0.14	0	0	0	0.29
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0.14
COVID-19	0.54	0.5	0.62	0.41	0.31	0.2	0.08	0.14	0.31	0.23

警報　注意報

■　中部保健所管内の直近５週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■　インフルエンザの過去5年の発生動向



■　新型コロナウイルス感染症